

遊歩道はこうして作られた（2）

遊歩道のルート上に、大きな松の倒木が横たわっています。切り刻んでも容易に動かせる重さではありません。チルホール（けん引具）と新たに購入した高強度ロープで、地道に移動させます。奥にやるか、手前に引くか思案しどころ。

そしてなぜなのか？この区画（30m×30m）には樹木がなく藪原になっています。日当たりが良く、適度な湿り気もあり1年もすれば藪が腰高を超えます。厄介な藪原です。

地生えの幼樹を大事に育てるしかありませんね。



遊歩道上に横たわる松の太い倒木、チルホールで移動させます



移動させた邪魔な倒木↑



刈払いで、いたるところに倒木の全容が明らかに